

第 63 回 札幌市緑の審議会

目標・指標

平成 22 年 6 月 17 日

# 目標

3/25中間答申(案)の目標	修正案	解説	現況値	目標値(H32)	現況値の集計方法	目標値の設定方法	重複する指標等	
目標に関する項目	市域のみどりの量	変更なし	都市計画区域の緑被地の面積	31,225ha	現状以上 (31,225ha)	緑被現況調査（H19年航空写真による）	これまでの緑被の推移から、今後も緑被は減少（10年間で約120ha減）するものと予測。公園事業、民間や市民などとの協働によるみどりの創出（10年間で約120ha増）により緑被の現状以上を目指す。	
	みどりの活動にかかわっている市民の割合	みどりづくりなどに参加した市民の割合	過去1年間にガーデニング、公園や森を使った催事や維持管理活用、町内会での花植え、森林保全活動、催事の企画運営など、みどりに関する催事や活動の市民参加率	39.0%	3割増 (50%)	市民アンケート調査の質問3-1でどれかひとつでも「参加した」と回答した人の割合	みどりづくりに参加したいと思っている人に、参加するきっかけを提供することなどで、みどりづくりに参加する市民を増やすことを目指す。質問3-1(1)～(5)でどれかひとつでも「今後も参加したい」または「今後は参加したい」と答えた人の市民の割合を目標とする。	柱1②の指標
	みどりの活動にやりがいを感じている市民の割合	みどりづくりなどに今後も参加したいと思っている市民の割合	過去1年間にガーデニング、公園や森を使った催事や維持管理活用、町内会での花植え、森林保全活動、催事の企画運営など、みどりに関する催事や活動に参加した市民で今後も参加したいと答えた市民の割合	78.9%	現状以上 (78.9%)	市民アンケート調査の質問3-1(1)～(5)で、各サンプルごとに「今後も参加したい」と選択した数（複数回答なので人数ではない）を参加した数で除し、合計した数値をいずれかひとつでも「参加した」と回答した人数で除した値	現況値が高いことから、現状以上を目指す。	柱1②の指標
	都心部樹林率	変更なし	「都心まちづくり戦略」に基づく都心の範囲における樹林率	8.9%	1割増 (10%)	都心部緑被現況調査（H19年航空写真による）の2×2=4㎡の精度で計測した樹林率	都心部樹林面積36.5haの1割にあたる3.65haの増を、公共（街路樹、創成川公園など）や条例に基づく樹林の創出で目指す。	柱2⑤の指標
	都心部がみどり豊かであると感じている市民の割合	変更なし		68.7%	1割増 (75%)	市民アンケート調査の質問1-2で「みどり豊か」、「どちらかと言えば豊か」と答えた人の割合	都心部樹林率の1割増を目指すことや、花などを用いた都心のみどりづくりで、現況値から1割程度増加することを目指す。	柱2⑤の指標
	保全されるみどりの面積	保全されているみどりの面積	都市計画区域内で地域制緑地、施設緑地、公共施設緑地のいずれかになっている場所の面積	21,330ha	370ha増 (21,700ha)	法律等で守られている地域制緑地面積、都市公園、公共施設の緑地の重複を除く合計面積	都市計画区域内の緑被地31,225haや、これから創出するみどりを保全するため、今後10年間で、効率的な公園整備や法制度の活用により、担保されるみどりの面積を370ha増やすことを目指す。	
	森林の育成管理・活用する人の満足度	森林の保全活動に参加した市民の割合	過去1年間に市内近郊の森で保全活動に参加した市民の割合	4.0%	2倍 (8%)	市民アンケート調査の質問3-1(3)で「市内近郊の森で保全活動などに参加した」と回答した人の割合	質問3-1(3)で「今後は参加しない」と答えた人を除く参加した人と「今後は参加したい」と答えた半数の人数を合計し、総回答数で除した値	柱3⑦の指標
	公園の再整備などを行う箇所数	公園機能の見直しを図った公園の数	社会的ニーズの変化などにより、公園機能の見直しを図った公園の数	305か所	400か所増 (705か所)	リフレッシュ事業により機能の見直しを実施した公園数	再整備する公園とその近隣にある複数の公園の機能を地域住民とともに見直しまたは検討し、より多くの市民に活用される公園づくりを目指し、年間40か所の公園機能の見直しを図る。	柱4⑩の指標 柱4⑪の指標
	公園の満足度	身近な公園に対する市民の満足度	身近な公園に対して「満足している」と思っている市民の割合	58.9%	1割増 (65%)	市民アンケート調査の質問2-2(8)で「満足」「どちらかと言えば満足」と答えた人の割合	「どちらかといえば、不満」、「不満」、「わからない」を選択した人のうち、今後10年間で公園機能の見直しを図る公園の割合相当の人が満足することを目指す。	柱4⑩の指標 柱4⑪の指標 柱4⑫の指標

# 指標

3/25中間答申(案)の目標		修正案	解説	現況値	現況値の集計方法	重複する指標等	
指標に関する項目	柱1①	みどりに関するイベントの開催数	みどりに関する催事や活動等を行った回数	みどりの推進部で把握し、一般に公表された、公園や近郊の森を開催場所としている催事や活動の数	99回	直近1年間のみどりのHPに掲載された学習会、展示会、遊び会などの催事や活動、学習会、講習会などの数	柱3⑧の指標
		みどりに関するイベントの参加者数	みどりづくりなどに参加した市民の割合	過去1年間に、ガーデニングや公園、森、道路等を使ったみどりづくり、みどりに関する活動などへの市民参加率	39.0%	市民アンケート調査の質問3-1でどれかひとつでも「参加した」と回答した人の割合	柱3⑧の指標
		みどりに関するイベントの参加者満足度	みどりに関する催事や活動等に今後も参加したいとと思っている市民の割合	過去1年間にガーデニング、公園や森を使った催事や森林保全活動など、みどりに関する催事に参加した市民のうち、今後も参加したいと思っている市民の割合	78.9%	市民アンケート調査の質問3-1(1)~(5)で、各サンプルごとに「今後も参加したい」と選択した数(複数回答なので人数ではない)を参加した数で除し、合計した数値をいずれかひとつでも「参加した」と回答した人数で除した値	柱3⑧の指標
		みどりに関する講習会などの開催数	変更なし	みどりの推進部で把握し、一般に公表された、公園や近郊の森を開催場所としている環境学習や園芸講習会などの数	25回	直近1年間のみどりのHPに掲載される観察会、園芸講習会、学習会の集計値	柱3⑨の指標
		みどりに関する講習会などの参加者数	みどりに関する講習会などに参加した市民の割合	過去1年間に環境学習や園芸講習に参加した市民の割合	10.6%	市民アンケート調査で質問3-1(2)で「参加した」と回答した人を回答者数1336で除した割合	柱3⑨の指標
		みどりに関する講習会などの参加者満足度	みどりに関する講習会などに今後参加したいとと思っている市民の割合	過去1年間に環境学習や園芸講習に参加した市民のうち、今後も参加したいと思っている市民の割合	65.2%	市民アンケート調査の質問3-1で(2)を選択した人で、「今後も参加したい」と答えた人を「参加した」と答えた人数で除した割合	柱3⑨の指標
		ボランティア、タウンガーデナーの登録数	変更なし	さっぽろタウンガーデナー、札幌市森林ボランティア、公園ボランティアに登録している人の数および団体数	1,942人(56団体)	さっぽろタウンガーデナー、札幌市森林ボランティアに登録している人の数および団体数	
	ボランティア、タウンガーデナーの活動満足度	削除	データ収集が困難				
	市からの情報提供数	変更なし	過去1年間のマスメディアへのみどりの活用や質の向上につながる情報の提供数	219件	市の広報システムに入力した数	柱1③の指標	
	柱1②	HPのアクセス件数	変更なし	みどりのページへのアクセス件数	37,042件	市情報化推進部資料による「みどりのトップページ」への過去1年間のアクセス件数	
柱1③	企業・大学などとの連携事業数	変更なし	過去1年間の民間や学術団体と共同で行った事業の数	68件	過去1年間の教育機関、学会、業界団体、独立行政法人、公益法人など民間や学術団体との協働事業、業務、後援、共催の数	柱2⑤の指標	
柱2④	街路樹や道路景観の満足度	身近な道路がみどり豊かだと思っている市民の割合	身近な道路がみどり豊かだと思っている市民の割合	58.8%	市民アンケート調査の質問1-3(1)で「みどり豊か」、「どちらかと言えば豊か」と答えた人の割合		
	地域住民や企業など花づくりにかかわる人、団体の数	花づくりにかかわる市民の割合	過去1年間に花植えや清掃、ガーデニングを行った市民の割合	33.5%	市民アンケート調査の質問3-1で(1)(5)を選択した花づくり、庭づくりを行っている市民の割合	柱2⑥の指標	

3/25中間答申(案)の目標		修正案	解説	現況値	現況値の集計方法	重複する指標等
指標に関する項目	柱2⑤ 景観重要樹木や保存樹木の指定数	変更なし	都心部において保存樹、景観重要樹木等に指定されている樹木の本数	18本	都心部緑化重点地区内の保存樹、保存並木、保存樹林、景観重要樹木、景観資産に指定されている樹木本数	
	柱2⑥ 身近な地域においてみどりが豊かであると感じている市民の割合	住まいのまわりがみどり豊かだと思っている市民の割合	住まいのまわりがみどり豊かだと思っている市民の割合	73.2%	市民アンケート調査の質問1-1(1)で「みどり豊か」、「どちらかと言えば豊か」と答えた人の割合	
	地域制緑地面積	法律や条例などで守られているみどりの面積	風致地区、特別緑地保全地区、保安林、自然公園、農用地区域、河川区域、地域計画対象民有林、自然環境保全地域、保存樹林等、天然記念物、市民の森、都市環境林の指定面積	19,693ha	風致地区、特別緑地保全地区、保安林、自然公園、農用地区域、河川区域、地域計画対象民有林、自然環境保全地域、保存樹林等、天然記念物、市民の森、都市環境林の指定面積の重複を除く面積	柱3⑦の指標 柱3⑧の指標 柱3⑨の指標
	植樹への参加者数	植樹祭などの参加者数(開催数)	過去1年間の市主催または協賛、後援による植樹会の参加者数および開催数	6,598人(55回)	過去1年間の市主催または協賛、後援による植樹会の参加者数および開催数	柱3⑨の指標
	植樹本数	市民参加で植樹した本数	過去1年間の市主催または協賛、後援による植樹会によって植栽された本数	23,864本	市主催または協賛、後援による植樹会によって植栽された本数	柱3⑨の指標
	柱3⑦ 森林の育成活動数	変更なし	過去1年間で市が協力している森林の育成管理などの活動開催数	16団体956人	市が協力している森林の育成管理などの活動開催数(計画策定時は、森林ボランティア団体および個人数を現況値とする)	柱3⑧の指標
	森林の育成活動参加者数	森林の保全活動に参加した市民の割合	過去1年間に市内近郊の森で保全活動に参加した市民の割合	4.0%	市民アンケート調査の質問3-1(3)で「市内近郊の森で保全活動などに参加した」と回答した人の割合	柱3⑧の指標
	森林の育成活動参加者の満足度	森を守ったり活用することを今後も続けたいと思っている市民の割合	過去1年間に市内近郊の森で保全活動に参加した市民のうち今後も参加したいと思っている市民の割合	44.4%	市民アンケート調査の質問3-1(3)で「市内近郊の森で保全活動などに参加した」人の中で「今後も参加したい」と答えた人の割合	柱3⑧の指標
	柱3⑧ 白旗山都市環境林利用者数	変更なし	白旗山の利用者数	57,864人	過去1年間の白旗山森林活用センターで集計している利用者数	
	白旗山都市環境林利用者の満足度	削除	データ収集が困難			
柱3⑨ 記載なし	二酸化炭素吸収量	国土交通省が策定する「低炭素都市まちづくりガイドライン」に基づき、現況値の算定手法を決定	—			

3/25中間答申(案)の目標		修正案	解説	現況値	現況値の集計方法	重複する指標等
指標に関する項目	柱4⑩ 公園の管理や運営への参画数(個人・団体)	変更なし	都市公園町内会管理業務委託を行っている町内会数および札幌市公園ボランティア登録団体数の合計と個人登録者数	674団体/ 16個人	町内会委託数、札幌市公園ボランティアの数の集計	
	公園バリアフリー化率	変更なし	トイレ、園路広場、駐車場の3指標でバリアフリー化を行った公園の整備率	トイレ28% 園路広場74% 駐車場45%	バリアフリー化指標(国土交通省3指標)に基づき、改修された公園の整備率(バリアフリー化調書に記載した達成率)	
	柱4⑪ 公園未充足地域の公園などの確保数	公園未充足地域数	公園面積率1%以下の住区およびびー人当たり都市公園面積3㎡以下の住区数(現緑の基本計画での緑化重点地区選定要件と同じ)	63住区 (全市203住区)	公園未充足地域のうち施設緑地や公共施設緑地、地域制緑地等の担保性のあるみどりが確保された公園住区を減じた公園住区数	
	市民一人当たりの公園緑地面積	変更なし	都市公園、都市環境林、市民の森、その他の公共施設緑地の市民一人当たり面積	28.5㎡/人	「札幌市の公園緑地」公園緑地区別総括表による値	
	柱4⑫ 公園活用率	公園が活用されていると感じている市民の割合	身近な公園が活用されていると思っている市民の割合	64.4%	市民アンケート調査の質問2-2(1)で「活用されている」、「どちらかと言えば活用されている」と答えた人の割合	
	公園の冬季間の活用率	冬季間にも公園が活用されていると思っている市民の割合	身近な公園が冬季間も活用されていると思っている市民の割合	22.8%	市民アンケート調査の質問2-2(3)で「活用されている」、「どちらかと言えば活用されている」と答えた人の割合	